

環境経営レポート

2021年度版

(2020年12月~2021年11月)



2022年1月18日 発行

金子建設株式会社

目 次

| | |
|---|----|
| 1. 組織の概要、対象範囲 | 1 |
| 2. 認証・登録の対象範囲 | 2 |
| 3. 環境安全経営指針 | 3 |
| 4. 環境経営目標 | 4 |
| 5. 環境経営計画 | 5 |
| 6. 環境経営目標の実績 | 7 |
| 7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 | 8 |
| 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無 | 11 |
| 9. 代表者による全体評価と見直しの結果 | 12 |

1. 組織の概要、対象範囲

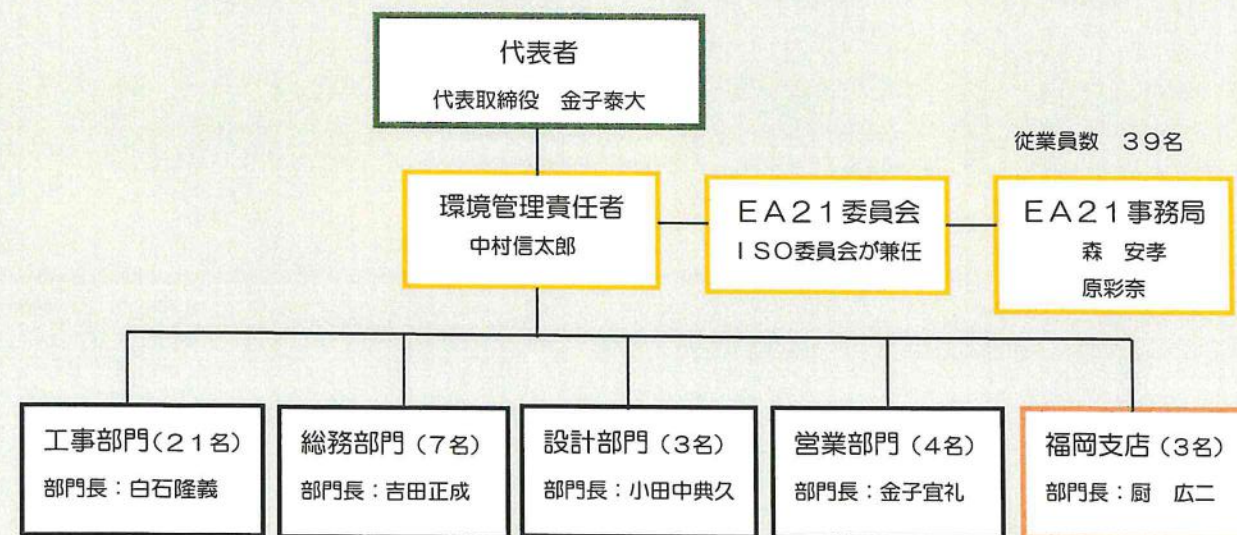
- (1) 事業所名 金子建設 株式会社
代表者氏名 代表取締役 金子 泰大
- (2) 所在地 本 社 〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町487番地
福岡支店 〒815-0084 福岡県福岡市南区市崎1丁目1番5号
- (3) 環境管理責任者 工務部長 中村 信太郎
担当者氏名 取締役営業部長 森 安孝
連絡先 TEL 0942-31-0001
FAX 0942-38-1361
E-mail honsha@kaneko-con.co.jp
- (4) 事業の概要 総合建設業
土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、電気工事業、
管工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業
福岡県知事許可 (特-28)第6121号
一級建築士事務所 福岡県知事許可 第1-50247号
宅地建物取引業 福岡県知事許可 (12)第3277号
URL: <http://www.kaneko-con.co.jp/company.html>
- (5) 事業の規模 (事業年度：12月～翌年11月)
- | | 単位 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|------|----------------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | 百万円 | 5,083 | 6,454 | 5,881 | 4,224 |
| 従業員数 | 人 | 40 | 40 | 40 | 39 |
| 床面積 | m ² | 1,078 | 1,078 | 1,078 | 1,078 |
- (6) 法人設立年月日 1946年6月創業
- (7) 資本金 9,800万円
- (8) 会計年度 12月～翌11月

2. 認証・登録の対象範囲

・当社におけるエコアクション21の対象範囲と社内実施体制は、以下のとおりです。

- (1) 対象事業者 金子建設 株式会社
- (2) 対象事業所 本社、福岡支店
- (3) 対象事業活動 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、電気工事業、
管工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

エコアクション21 実施体制図



従業員数 39名

建設現場
環境責任者：現場代理人



本 社



福岡支店

3. 環境安全経営指針

環境安全経営指針

品質方針

お客様からの信頼獲得と心より喜ばれる良い建物創り

1999年11月27日

環境経営方針

建設業としての事業活動を通して、顧客の期待する環境に配慮した建設物を提供し、地域の環境保全に貢献する企業を目指す

2009年7月1日

安全方針

『安全第一』の理念の下、安全を全てにおいて優先し、危険源の除去とリスクの低減、働く人の協議及び参加を行い労働災害ゼロを目指し、無事故で明るい快適な職場環境づくりを目指す

2020年11月28日

上記方針実践のために、我社の行動指針を下記の通り定めます。

【品質行動指針】

- ① 高品質で機能的な建物創り
- ② 全社目標数値と部門目標数値及び個人目標数値の完全達成
- ③ 施工管理の標準化と適正な検査日程を考慮した工程管理
- ④ 建物が持つべき機能と美しさの創造
- ⑤ 高付加価値を創り出すVE提案及び技術提案の実施
- ⑥ クレームへの即対応と原因究明による再発防止により手直し工事をなくす

【環境行動指針】

- ① 省エネルギーと省資源の推進
- ② 排出・産業廃棄物の削減
- ③ グリーン購入の推進
- ④ 再資源の活用
- ⑤ 法規制順守及び社会貢献活動の推進
- ⑥ 環境経営の継続的改善に努める

【安全行動指針】

- ① 安全最優先にてゼロ災の継続
- ② 法規制順守を含む安全衛生管理体制の強化
- ③ 安全で健康的な職場の確保
- ④ 具体的なリスクアセスメントの実施
- ⑤ 労働安全衛生の継続的改善

2020年11月28日

金子建設株式会社
代表取締役 金子泰大

4. 環境経営目標

- 環境経営目標は、当社の事業活動を踏まえて、2021年度～2024年度までの中期目標として、以下の6項目13目標をサイト区分（事務所、建設現場、全社）して設定しました。
- 主要な環境負荷である二酸化炭素排出量と水使用量については、基準年（2022年度実績値）を基準に、毎年1%ずつ削減し、2024年度までに4%削減を目指します。
- 事業活動で取り組む本業目標については、「環境配慮事項の提案」（太陽光発電の勧め）を掲げ、全社をあげて取り組んで環境経営を推進していきます。

| 環境経営目標 | 単位 | サイト 区分 | 基準年 | 目標 | | | | |
|------------------|--------------------|-----------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------|
| | | | 2020年度 実績値 | 2021年度 (△1%) | 2022年度 (△2%) | 2023年度 (△3%) | 2024年度 (△4%) | |
| 1 二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 全社 | 89,150 | 88,259 | 87,367 | 86,470 | 85,585 | |
| | | 事務所 | 16,020 | 115,860 | 15,700 | 15,540 | 15,380 | |
| | | 建設現場 | 73,130 | 72,339 | 71,668 | 70,937 | 70,205 | |
| | (1)電気使用量の削減 | kWh | 事務所 | 33,444 | 33,110 | 32,775 | 32,441 | 32,106 |
| | | | 建設現場 | 152,672 | 151,145 | 149,619 | 148,092 | 146,565 |
| | (2)ガソリン使用量の削減 | L | 事務所 | 39,026 | 38,636 | 38,245 | 37,855 | 37,465 |
| | (3)軽油使用量の削減 | | 建設現場 | 529 | 524 | 518 | 513 | 508 |
| 2 廃棄物排出量の削減 | | | | | | | | |
| (1)一般廃棄物排出量の削減 | kg | 事務所 | 673 | 666 | 660 | 653 | 646 | |
| (2)産業廃棄物最終処分量の削減 | t | 建設現場 | 2,862 | 2,833 | 2,805 | 2,776 | 2,748 | |
| 3 水使用量の削減 | m ³ | 事務所 | 1,341 | 1,328 | 1,314 | 1,301 | 1,287 | |
| 4 グリーン購入の推進 | 品目数 | 全社 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | |
| 5 環境配慮事項の提案 | 件 | 事務所 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | |
| 6 地域貢献活動の推進 | 回 | 全社 | 河川 12 | 河川 12 | 河川 12 | 河川 12 | 河川 12 | |
| | | | 道路 12 | 道路 12 | 道路 12 | 道路 12 | 道路 12 | |

備考) ・二酸化炭素排出量の計算に用いた電力の排出係数は、九州電力(株)の2020年度調整後排出係数(0.479 kg-CO₂/kWh)を用いた。

- ()内の%は基準年実績をベースとした削減率を示す。
- 化学物質は使用実績が無いため、目標から除外した。
- 福岡支店の電気使用量とガソリン使用量と水使用量は、事務所に含まれている。
- 全社とは事務所+建設現場を示す。

5. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組（活動項目）を設定して、全社員で取り組みました。

(1) 二酸化炭素排出量削減のための取組(責任者: 杉村、中村)

1) 電気使用量の削減

- ① エアコン設定温度を決め、実行する (担当: 杉村)
- ② 使用していないパソコン電源を切る (担当: 杉村)
- ③ 昼休み時間の消灯 (担当: 杉村)
- ④ 照明器具、空調機フィルターの定期清掃 (担当: 杉村)
- ⑤ LED照明への更新 (担当: 杉村)

2) ガソリン使用量の削減

- ① アイドリングストップ手順を決め、実行する (担当: 杉村)
- ② 急発進・急加速・急減速の禁止 (担当: 杉村)
- ③ 不要な荷物は積まない (担当: 杉村)
- ④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回) (担当: 杉村)
- ⑤ ふんわりアクセルエコスタート (担当: 杉村)
- ⑥ カーエアコンの適切な使用 (担当: 杉村)
- ⑦ 早めのアクセルオフ

エコドライブのあれこれ

エコカーや、燃費の良い車に乗りましょう。

電気自動車、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車といった次世代のエコカーはもちろん、従来のエンジン車でハイブリッド車並みの燃費を実現したエコカーもあります。環境にやさしいエコカーでエコドライブしましょう。

詳しくは「エコドライブ」をご覧ください。
<http://www.motors.jp/evo/evo/evo.html>
 燃費の良しさを比較してください。

ハイブリッド車・電気自動車のエコドライブ運転方法のコツは?

答え：モーターだけで走るだけ活用しましょう。

●モーターだけで走るだけ活用しよう
 モーターの力でゆっくり発進し、エンジンが作動したら徐々にアクセルを踏み込んでモーターのみで走行できるように運転を行います。

●ブレーキは早めに減速
 減速時に早めにアクセルを離してゆっくりブレーキを踏み、長い距離をゆっくり停止させましょう。ゆっくりブレーキを踏むとモーターで発進したエネルギーが充電されます。次の発進・減速時に再利用できるので燃費が良くなります。

ハイブリッド車のエンジンの稼働図
 (どのタイミングでエンジンを稼働させるかを示します)

エコドライブ支援ツールを使いましょう。

様々なエコドライブ支援ツールを利用することで簡単にエコドライブに取り組みます。

「エコドライブアシスト」をONにしましょう。車の燃費がかわって、はっきり燃費が良くなります。燃費が良くなるので、燃費が良くなります。

エコドライブアシスト

エコドライブで交通事故が減ります。

ゆっくり発進、ゆっくり停止、十分に車間距離をとるなどエコドライブを心がけることで交通事故の減少につながります。これにより交通事故の発生率が減少するという報告もあります。エコドライブでエコだけでなく安全運転にもつながります。

エコドライブ時 vs 通常運転時
 エコドライブ時の方が交通事故発生率が減少しています。

エコドライブ10のすすめ

エコドライブとは、燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につながる「運転技術」や「心がけ」です。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、消費者が安心して安全な運転ができます。心にゆとりを持って走ることで、朝晩にゆとりを持って走ることで、これまで大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にでもすぐに始められることができるアクションです。小さな意識を習慣にすることで、大きな効果が期待でき、社会に貢献することができます。できることから、始めてみましょう。エコドライブ。

- 1 自分の燃費を把握しよう**
 自分の車の燃費を把握することは重要です。自分の燃費を把握すると、自分のエコドライブの進捗を確認できます。燃費計と燃費表示・エコドライブアシスト機能・インフォメーションディスプレイなどのエコドライブ支援機能を使いましょう。
- 2 ふんわりアクセル「eスタート」**
 発進するときは、ゆっくりアクセルを踏みましょう(急発進は、急加速・急減速の機会が多くなり、燃費が悪くなります)。ゆっくり発進を心がけると、10%燃費が良くなります。燃費が良くなることは、安全運転にもつながります。
- 3 車間距離にゆとりをもつ、加速・減速の少ない運転**
 急発進、急減速は、燃費が悪くなります。車間距離にゆとりをもつことで、急発進、急減速を避け、燃費を良くすることができます。
- 4 減速時は早めにアクセルを離そう**
 急減速を避け、早めにアクセルを離すことで、燃費を良くすることができます。燃費を良くすることで、燃費が良くなります。
- 5 エアコンの使用は適切に**
 エアコン(AC)は夏の暑い時期に必要ですが、燃費の悪化の原因となります。エアコンの温度設定は、夏は26℃、冬は20℃を目安に設定しましょう。燃費を良くすることで、燃費が良くなります。
- 6 ムダなアイドリングはやめよう**
 待ち時間や渋滞の時にエンジンを止めておくことで、燃費を良くすることができます。燃費を良くすることで、燃費が良くなります。
- 7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう**
 渋滞を避け、余裕をもって出発することで、燃費を良くすることができます。燃費を良くすることで、燃費が良くなります。
- 8 タイヤの空気圧から始める**
 タイヤの空気圧を適切に保つことで、燃費を良くすることができます。燃費を良くすることで、燃費が良くなります。
- 9 不要な荷物はおろそう**
 不要な荷物を車から下ろすことで、燃費を良くすることができます。燃費を良くすることで、燃費が良くなります。
- 10 走行の妨げとなる駐車はやめよう**
 走行の妨げとなる駐車をやめることで、燃費を良くすることができます。燃費を良くすることで、燃費が良くなります。

エコドライブ普及連絡会
 (新幹線、経済産業省、国土交通省、環境省)

エコドライブ普及連絡会
<http://www.eco-drive.jp>

3) 軽油使用量の削減

- ① アイドリングストップ手順を決め、実行する（担当：中村）
- ② 急発進・急加速・急減速の禁止（担当：中村）
- ③ 不要な荷物は積まない（担当：中村）
- ④ 空気圧の適正確認チェック(1 ヶ月 1 回)（担当：中村）
- ⑤ 暖気運転は 3 分以内（担当：中村）
- ⑥ 坂道でのエンジンプレーキの使用（担当：中村）
- ⑦ 定期点検の実施（担当：中村）

(2) 廃棄物排出量削減のための取組(責任者:草場、中村)

1) 一般廃棄物排出量の削減

- ① 分別によるリサイクルの推進（担当：草場）
- ② コピー用紙裏紙の利用（担当：草場）

2) 産業廃棄物最終処分量の削減

- ① 分別によるリサイクルの推進（担当：中村）
- ② 転用可能な資材の活用（担当：中村）

(3) 水使用量の削減(責任者:杉村)

- ① 節水ラベルの貼付（担当：杉村）

(4) グリーン購入の推進(責任者:草場、中村)

- ① グリーン相当事務用品の調査購入（担当：草場）
- ② グリーン購入品相当資機材の調査（担当：中村）
- ③ 再生品利用率の把握（担当：中村）

(5) 環境配慮事項の提案(責任者:中村)

- ① 太陽光発電設置の勧め（担当：中村）

(6) 地域貢献活動の推進(責任者:森)

- ① 地域貢献活動(県道 17 号線愛護活動（担当：森）
- ② 地域貢献活動(防災協定 小森野川点検)（担当：森）
- ③ 本社、建設現場周辺の清掃活動（担当：杉村）

6. 環境目標の実績

- 今回の2021年度運用期間の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した環境経営目標6項目14目標のうち、事務所の電気及び水使用量とガソリン使用量が環境配慮事項の提案未達で今後改善が必要です。
- 当社の最大の環境負荷である二酸化炭素排出量については、ガソリン、軽油使用量の大幅な削減のため、全社では目標を達成しています。今後も高い環境意識を持ち、決められた車両のエコドライブ、定期的な点検等の取組を継続していきます。
- また今回未達成となった目標項目は、多分に受託工事の影響を受けていると思われ、改めて取組の周知徹底を行い目標達成に努力します。

| 環境経営目標 | 単位 | サイト 区分 | 基準年 | 2021年度 | | 目標 達成率 | 達成 状況 |
|------------------|--------------------|-----------|---------------|--------------|--------|-----------|----------|
| | | | 2020年度 実績値 | 目標値 (△1%) | 実績値 | | |
| 1 二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 全社 | 88,150 | 88,259 | 58,118 | 152% | ◎ |
| | | 事務所 | 16,020 | 15,850 | 17,987 | 88% | △ |
| | | 建設現場 | 73,130 | 72,339 | 40,131 | 180% | ◎ |
| (1)電気使用量の削減 | kWh | 事務所 | 33,444 | 33,110 | 37,552 | 88% | △ |
| | | 建設現場 | 152,672 | 151,145 | 83,781 | 180% | ◎ |
| (2)ガソリン使用量の削減 | L | 事務所 | 39,026 | 38,636 | 40,446 | 96% | △ |
| (3)軽油使用量の削減 | | 建設現場 | 529 | 524 | 436 | 120% | ◎ |
| 2 廃棄物排出量の削減 | | | | | | | |
| (1)一般廃棄物排出量の削減 | kg | 事務所 | 673 | 666 | 668 | 100% | ○ |
| (2)産業廃棄物最終処分量の削減 | t | 建設現場 | 2,862 | 2,833 | 1,452 | 195% | ◎ |
| 3 水使用量の削減 | m ³ | 事務所 | 1,341 | 1,328 | 1,804 | 73% | × |
| 4 グリーン購入の推進 | 品目数 | 全社 | 24 | 24 | 30 | 125% | ◎ |
| 5 環境配慮事項の提案 | 件 | 事務所 | 12 | 12 | 11 | 92% | △ |
| 6 地域貢献活動の推進 | 回 | 全社 | 河川 12 | 河川 12 | 河川 12 | 100% | ○ |
| | | | 道路 12 | 道路 12 | 道路 12 | 100% | ○ |

備考) ・削減目標項目の目標達成率は、【(目標値)/実績値】×100】で算出した。

・目標達成状況の判定は、◎：目標達成率120%以上 ○：100%以上120%未満 △：80%以上100%未満
×：80%未満 ー：判定不可とした。

・福岡支店の電気使用量(9,123Wh)と水使用量(567 m³)は、事務所使用量に含まれている。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

・2021年度運用期間中の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、概ね良好な結果となっています。

・今後も全社でこの取組を継続・発展させ、環境目標の全項目達成を目指していきます。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

| 環境経営目標 | サイト区分 | 目標達成状況 | 活動項目 | 取組実施状況 | 評価と今後の取組 |
|----------------|-------|--------|------------------------|--------|--|
| (1) 電気使用量の削減 | 事務所 | △ | ① エアコン設定温度を決め、実行する | ○ | ・二酸化炭素排出量の削減は、目標を達成出来たが、電気使用量が目標未達となった。今後も決められた取組の周知徹底を図り、取組を継続する。 ・ガソリン使用量の削減については、目標達成は出来たが、まだまだ削減の努力が必要と思われるので、今後もエコドライブの徹底を進める。 ・軽油使用量は、目標を達成している。軽油使用の車使用頻度が落ちたのが良いと思われる。今後も使用量削減運動を推進する。 |
| | | | ② 使用していないパソコン電源を切る | ○ | |
| | | | ③ 昼休み時間の消灯 | ○ | |
| | 建設現場 | ◎ | ④ 照明器具、空調機フィルターの定期清掃 | △ | |
| | | | ⑤ LED照明への更新 | - | |
| (2) ガソリン使用量の削減 | 事務所 | ○ | ① アイドリングストップ手順を決め、実行する | ○ | |
| | | | ② 急発進・急加速・急減速の禁止 | ○ | |
| | | | ③ 不要な荷物は積まない | ○ | |
| | | | ④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回) | ○ | |
| | | | ⑤ ふんわりアクセルエコスタート | ○ | |
| | | | ⑥ カーエアコンの適切な使用 | ○ | |
| | | | ⑦ 早めのアクセルオフ | ○ | |
| (3) 軽油使用量の削減 | 建設現場 | ○ | ① アイドリングストップ手順を決め、実行する | ○ | |
| | | | ② 急発進・急加速・急減速の禁止 | ○ | |
| | | | ③ 不要な荷物は積まない | ○ | |
| | | | ④ 空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回) | ○ | |
| | | | ⑤ 暖気運転は3分以内 | ○ | |
| | | | ⑥ 坂道でのエンジンブレーキの使用 | ○ | |
| | | | ⑦ 定期点検の実施(担当:中村) | ○ | |

備考) 達成状況区分 ○: 目標達成率 100%以上、△: 70%以上 100%未満、×: 70%未満

実施状況区分 ○: 実行されている △: ほぼ実行されている ×: 実行されていない -: 該当なし

(2) 廃棄物排出量の削減

| 環境経営目標 | サイト区分 | 目標達成状況 | 活動項目 | | 取組実施状況 | 評価と今後の取組 |
|-------------------|-------|--------|------|---------------|--------|---|
| (1) 一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | ○ | ① | 分別によるリサイクルの推進 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物排出量の削減は、目標をクリアしている。 ・今後も分別の徹底や、コピー用紙の裏紙使用を徹底する。 ・廃棄物最終処分量の削減は、目標を大いに下回った。解体工事のコンクリート塊・金属くずが増えたことが原因と思われる。今後も現場等削減を指導していく。 |
| | | | ② | コピー用紙裏紙の利用 | ○ | |
| (2) 産業廃棄物最終処分量の削減 | 建設現場 | ◎ | ① | 分別によるリサイクルの推進 | ○ | |
| | | | ② | 転用可能な資材の活用 | ○ | |

(3) 水使用量の削減

| 環境経営目標 | サイト区分 | 目標達成状況 | 活動項目 | | 取組実施状況 | 評価と今後の取組 |
|-------------|-------|--------|------|----------|--------|--|
| (1) 水使用量の削減 | 事務所 | × | ① | 節水ラベルの貼付 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・水使用量の削減は、目標を大いに下回った。 ・今後も使用量削減を指導していく。 |

(4) グリーン購入の推進

| 環境経営目標 | サイト区分 | 目標達成状況 | 活動項目 | | 取組実施状況 | 評価と今後の取組 |
|-------------|-------|--------|------|-----------------|--------|---|
| (1) 水使用量の削減 | 事務所 | ◎ | ① | グリーン相当事務用品の調査購入 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入の推進は、目標を達成出来た。 ・今後も、印刷紙と紙ファイルと再生クラッシュランのグリーン購入品を購入していく。 |
| | 建設現場 | | ① | グリーン購入品相当資機材の調査 | ○ | |
| | | | ② | 再生品利用率の把握 | ○ | |

(5) 環境配慮事項の提案の推進

| 環境経営目標 | サイト区分 | 目標達成状況 | 活動項目 | 取組実施状況 | 評価と今後の取組 |
|--------------|-------|--------|--------------|--------|--|
| (1)環境配慮事項の提案 | 事務所 | △ | ① 太陽光発電設置の勧め | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・提案の推進は、目標をやや下回った。 ・今後も取組を継続する。 |

(6) 地域貢献活動の推進

| 環境経営目標 | サイト区分 | 目標達成状況 | 活動項目 | 取組実施状況 | 評価と今後の取組 |
|--------------|-------|--------|------------------------|--------|--|
| (1)地域貢献活動の推進 | 全社 | ○ | ① 地域貢献活動(県道 17 号線愛護活動) | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所周辺と作業現場周辺の清掃活動を実施している。 ・今後も取組を継続する。 |
| | | | ② 地域貢献活動(防災協定 小森野川点検) | ○ | |
| | | | ③ 本社、建設現場周辺の清掃活動 | ○ | |

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- 当社の事業活動、製品及びサービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。
- 2021年度運用期間中の事業活動に対して、環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。
- また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

遵守状況評価区分 ○：遵守 ×：不遵守 ー：該当なし

| 環境関連法規 | 要求事項 | 遵守状況 |
|--------------------------------------|-----------------------------|------|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 一般廃棄物委託基準の遵守 | ○ |
| | 産業廃棄物処理の義務 | ○ |
| | 保管基準の遵守 | ー |
| | 産業廃棄物の保管 | ー |
| | 保管の届出 | ー |
| | 許可業者への委託 | ○ |
| | 委託基準の遵守 | ○ |
| | 排出者責任 | ○ |
| | 多量排出事業者の義務 | ー |
| | 管理票（マニフェスト票）の交付 | ○ |
| | 管理票（マニフェスト票）の写しの保存期間 | ー |
| | 管理票（マニフェスト票）に関する知事への定期報告 | ○ |
| | 管理票（マニフェスト票）の写しの送付を受けるまでの期間 | ○ |
| | 投棄禁止 | ○ |
| | 焼却禁止 | ○ |
| 廃棄物の処理に関する例外 | ○ | |
| 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法) | 建設業等を営む者の責務 | ○ |
| | 分解解体等実施義務 | ○ |
| | 届出に係る事項の説明義務 | ○ |
| | 再資源化実施義務 | ○ |
| | 発注者への報告等 | ○ |
| | 下請負人に対する元請業者の指導 | ○ |
| 騒音規制法 | 規制基準の遵守 | ー |
| | 特定建設作業の事前届出 | ー |
| 振動規制法 | 規制基準の遵守 | ー |
| | 特定建設作業の事前届出 | ー |
| 使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法) | 自動車の所有者の責務 | ー |
| | 使用済自動車の引き渡し義務 | ー |
| | 再資源化預託金の預託義務 | ー |
| フロンの使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法) | 特定製品の管理者の義務 | ○ |
| | 第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項 | ○ |
| | 回収依頼書、委託確認書、引取証明書の授受、料金支払 | ー |
| | フロン類の放出禁止 | ー |
| 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法) | 事業者及び消費者の義務 | ー |
| | 料金の請求 | ー |
| 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法) | 定義 | ー |
| | 事業者の責務 | ○ |

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 今回の取組の評価結果

- 環境経営目標のうち、事務所電気使用量は目標達成率が88%ガソリン使用量は96%と未達ではあるが達成できる範囲なので、今後統計を取りながら指導します。
- 水使用量の目標達成率が73%と低いため、目標達成に向けた対策を検討します
- 環境関連法規の遵守状況は、問題はありません。

(2) 環境経営システムの評価結果

- 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画は、全員に周知され実施されて目標達成に努力している姿が見られますが、なおいっそう達成する為の強固な意思を持つように指導していきます。
- 環境経営計画の責任者より達成出来ていないものへの個別指導をおこなっていきます。

(3) 見直しの結果

- エコアクション21ガイドライン・2017版での環境経営方針、環境経営目標、及び環境経営

システムに移行し、2021年にISO45001を認証取得しましたので、我が社の環境も変わり基本年度を2020年にして取り組んでいます。また年度変更等対応が遅れていますので今後指導が必要です。